

美祢市新美東総合支所庁舎等整備基本設計 概要版

令和3年1月

美祢市では、美東総合支所、大田公民館、美東図書館を複合して、新美東総合支所庁舎等整備事業を進めています。この度、基本設計がまとまりましたので、新美東総合支所庁舎の、機能、規模、構造等の内容を含んだ、基本設計概要についてお知らせします。



「みんなで力を合わせて、
地域の子どもと文化を育てるコミュニティの拠り所をつくる」

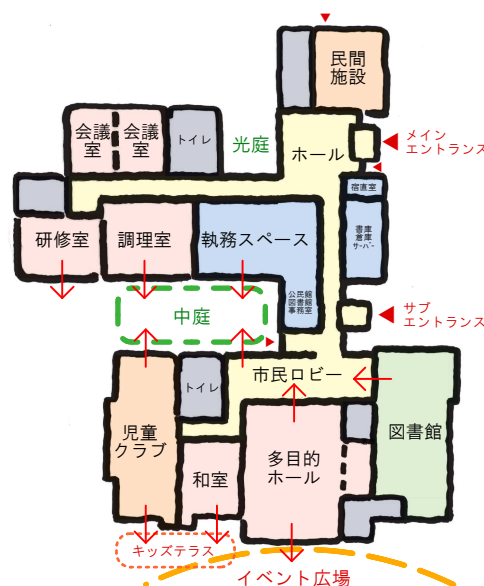
新美東総合支所庁舎等整備計画の目的

「みんなが頼りにできる暮らしの中心をつくる」

新総合支所整備の目的は、総合支所、公民館、図書館という3種類の公共施設を複合して整備することで、美東地域の中心に、暮らしの中心を再生させることにある。

複合していることのメリットを最大限生かし、子育て、コミュニティ活動、文化活動、産業活動など、複合的な活動を展開するためになる場所をつくり、美東地域固有の大地の構造や、歴史を大切に、次代を担う子どもと、地域文化を育てる活動の拠点として地域のみんなに愛される建築となることを目指している。

1. みんなが気軽に集まる世代を越えた居場所
2. みんなが様々な活動を展開する場所
3. みんなをつなぐ情報拠点
4. みんなの暮らしを支える場所



複合から融合へ 空間構成の考え方

3つの施設を構成する諸室を、市民ロビー、中庭によってゆるやかにつなぎながら、全体がひとつの建築として融合することを、目指している

「みんなで力を合わせて、地域の子どもと文化を育てるコミュニティの拠り所をつくる」

1. みんなが気軽に集まる世代を越えた居場所

- ・ 子どもからお年寄りまで、みんなが普段着のまま気軽に集まれる地域のエンガワのような居場所
- ・ 複合していることの利点を生かし、複合利用・重複利用により、コンパクトにつくり、大きく使える施設
- ・ 子どもたちが学校帰りに立ち寄り、勉強や、バスの時間待ちなどに使う場所
- ・ ユニバーサルデザインを徹底し、子どもからお年寄りまですべての人が使いやすい施設

2. みんなが様々な活動を展開する場所

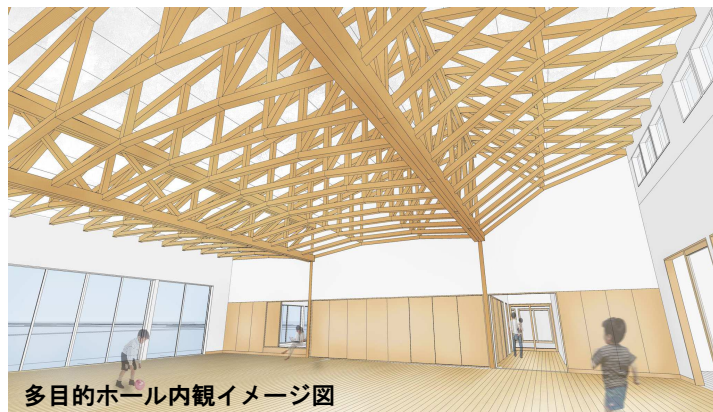
- ・ 住民がそれぞれに自由な活動を展開し、自らの力を振るうことができる場所
- ・ さまざまな地域活動や、まちづくり活動の拠点として多世代に利用される施設
- ・ 配食サービスなど、地域ボランティア活動にみんなで取り組める場所
- ・ 新旧の建物をつなぐ市民ロビーで、オープンキッチンやギャラリーなど市民の様々な活動が展開する施設

3. みんなをつなぐ情報拠点

- ・ 大田小学校、美東中学校、大田保育園などが集まるエリアにあり、教育・子育てを中心とした市民の活動が
つながる施設
- ・ 本や情報を集め、困った時に頼りになる知的情報拠点としての施設
- ・ 金麗社、長登銅山、秋吉台・秋芳洞などの観光資源のビジターセンターとして、情報発信拠点の役割を担う
場所
- ・ ICT環境の整備を進め、本庁、秋芳総合支所とのネットワークにより円滑な運営が行われる施設

4. みんなのくらしを支える場所

- ・ 児童クラブ、子育て広場を併設して、子育て世代を応援し、子ども達の健やかな育ちと学びを支える場所
- ・ 健康増進活動や、体力維持のための軽運動、子どもの遊び場として利用できる場所
- ・ 災害時には、最低限の機能を維持できるように、構造計画、設備計画に配慮し、住民の避難場所としての役割
を担う場所
- ・ 美東保健福祉センターの建物を再生させ、環境への負荷を抑え、維持管理にお金のかからない、地球環境に
優しい建築

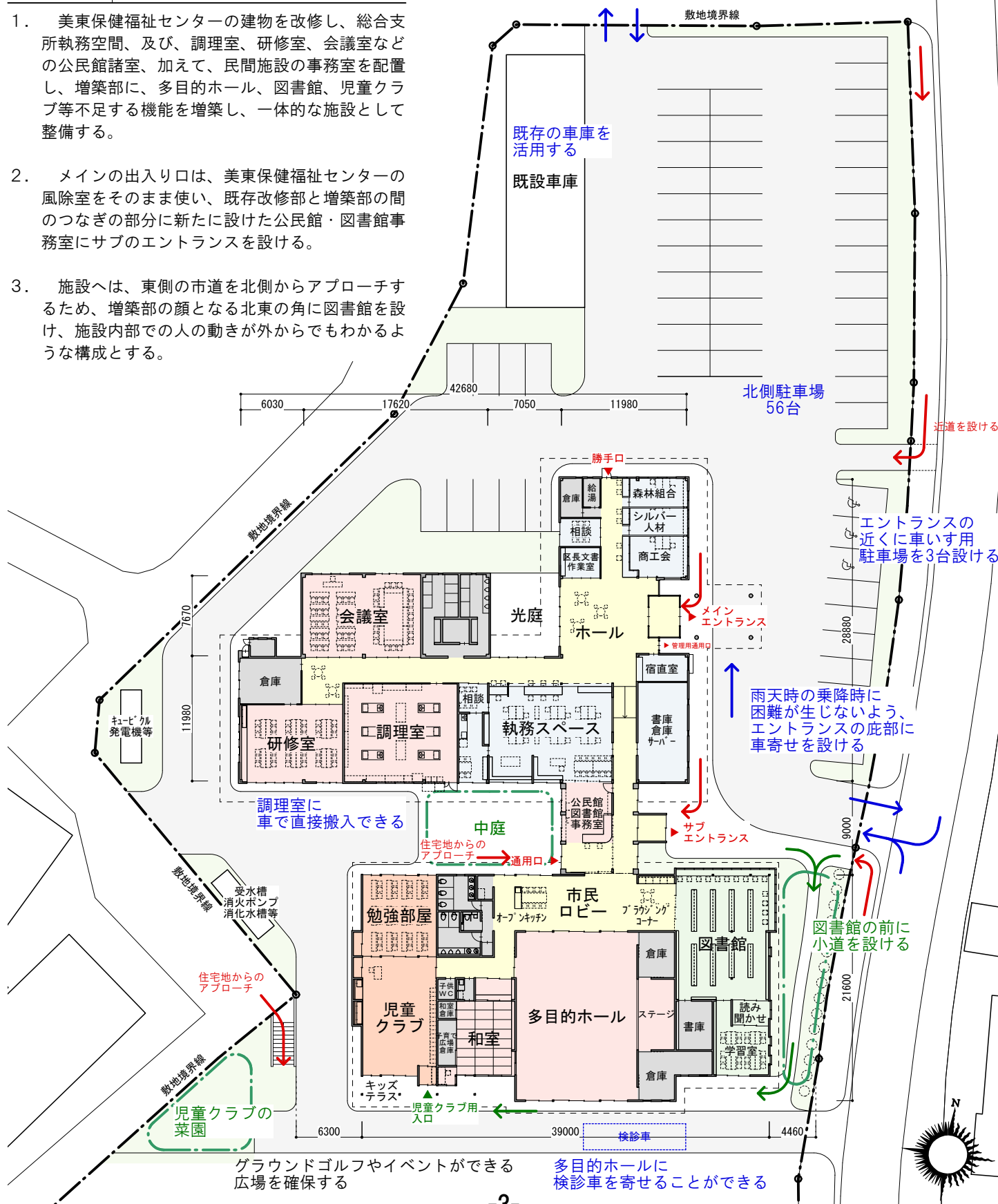


平面計画

■建築概要

工事名称	美祢市新美東総合支所庁舎等整備
地名地番	美祢市新美東町大田6141
敷地面積	8912.11㎡
延床面積	1742.14㎡
最高高さ	7.58m
最高軒高	4.30m
階数	平屋
構造	改修部：S造、 増築部①：RC造、増築部②：木造

1. 美東保健福祉センターの建物を改修し、総合支所執務空間、及び、調理室、研修室、会議室などの公民館諸室、加えて、民間施設の事務室を配置し、増築部に、多目的ホール、図書館、児童クラブ等不足する機能を増築し、一体的な施設として整備する。
2. メインの出入り口は、美東保健福祉センターの風除室をそのまま使い、既存改修部と増築部の間をつなぎの部分に新たに設けた公民館・図書館事務室にサブのエントランスを設ける。
3. 施設へは、東側の市道を北側からアプローチするため、増築部の顔となる北東の角に図書館を設け、施設内部での人の動きが外からでもわかるような構成とする。



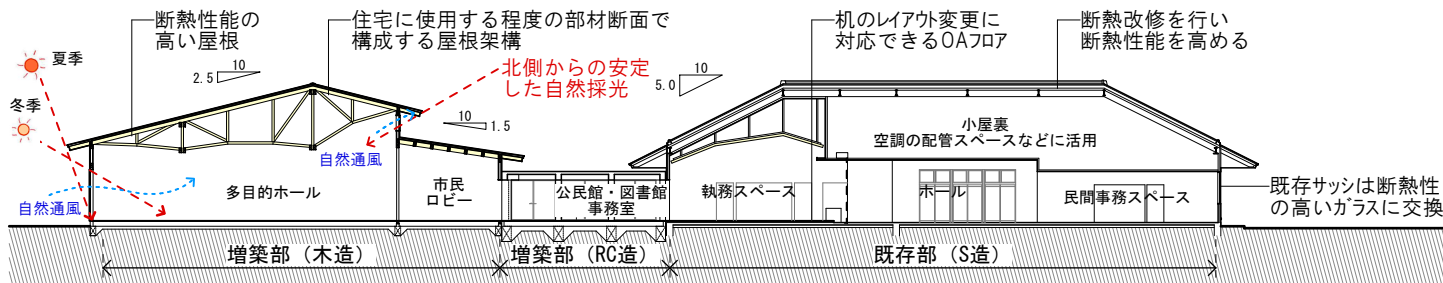
断面計画

■基本的な考え方

- 空間構成段階で、出来るだけ設備に頼らないで快適な空間をつくる工夫などで、ライフサイクルコストの低減を図り、環境への負荷の少ない建築を実現する。
- 高い屋根と、低い屋根と2段の屋根で構成し、段差の部分に北側の安定した光を取り入れるために、高窓を設置する。

■木造部分の考え方

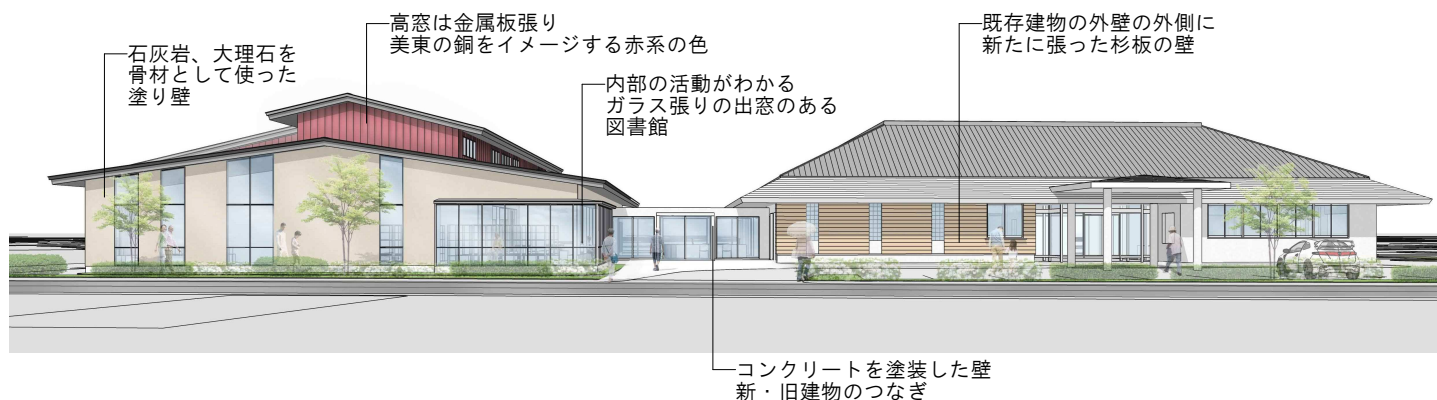
- 地域産木材等により、通常確保できる住宅に使用する程度の部材を使った断面構成とする。



仕上げのイメージ

美東保健福祉センターのイメージを一新した、近寄りやすく、親しみやすい建築

- 美東保健福祉センターが持っているこれまでのイメージをベースに、一新した印象を与え、増築部を明るく柔らかな印象の木造建築として、施設を利用する市民の活動が外から見え、そこに新しい活力を感じるデザインとする。



	既存部	増築部
屋根	既存石州瓦一文字葺き 清掃、既存カーテンレス横葺き 清掃	Al-Zn合金メッキ着色鋼板 (t=0.4) 特殊堅ハレ葺き (フラットルーフ)
外壁	既存押出成形メント板 (t=50) 縦張り 洗浄の上、ウレタン樹脂塗装	杉板張り (t=15) WP塗装、左官塗り壁、Al-Zn合金メッキ着色鋼板 (t=0.4) 堅ハレ葺き
天井	木ルバー、ロッキング吸音板	垂木現し、ロッキング吸音板
内壁	石膏ボード EP塗装	杉板 (t=12) 張り WP塗装、石膏ボード EP塗装
床	タイルベットの張替え (一部 OAフロア)、ビニル床シート 張替え	複合フローリング

事業スケジュール

本施設の完成時期は、合併推進債の期限の2022年度末を目標とします。ただし、スケジュールについては実施設計の各段階において見直す可能性があります。

	令和2(2020)年度			令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度																	
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8		
基本設計	■	■	■																								
実施設計																											
建設工事																											
解体工事																											

令和4(2022)年度 10月～12月: 合併推進債期限
 令和5(2023)年度 1月: 検査、引渡し
 令和5(2023)年度 2月: 移転
 美東総合支所等

お問い合わせ先:

美祢市美東総合支所 総合窓口課 〒754-0291 美祢市美東町大田5936 TEL 08396-2-5000 FAX 08396-2-5111